



第31次派遣海賊対処行動航空隊帰国

8月8日（木）、八戸航空基地において、ソマリア沖・アデン湾で海賊対処の任務に就いていた第31次派遣海賊対処行動航空隊の帰国行事を行いました。

31次隊は、4月19日に八戸航空基地を出発し、現地において61回（430時間）の任務飛行を完遂し、約4か月ぶりに八戸に帰ってきました。なお、派遣されたP-3C2機のうち1機が、32次隊のP-3Cの修理の所要により到着が遅れたため、この日はP-3C1機が八戸航空基地に降り立ち、隊員と家族らに出迎えられました。

帰国行事では、第2航空群司令が小野寺五典防衛大臣の訓示を代読し、「派遣された隊員諸君においては、今般の貴重な経験を生かし、引き続き国民の生命・財産と我が国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため、任務に邁進していただきたいと思います。」と海賊対処の任務を完遂した隊員を称えました。それに続き、自衛艦隊司令官 山下万喜海将の訓示を代読し、「隊員諸君が、本行動を通じて示した多大な努力と献身に対し敬意を表するとともに、今後尚一層の努力をもって光輝くことを期待する。」と困難な任務を完遂した隊員へ賛辞を呈し、派遣隊員を支えてくださったご家族へも感謝の言葉を伝えました。

帰国行事終了後は、31次隊の指揮官を務めた高橋英樹2佐が取材に対し、「猛暑の続く過酷な環境の中、共に最後まで任務を全うしてくれた隊員を誇りに思います。」と部下隊員への感謝の思いを述べました。

そして、1機目の帰国から6日後の8月14日（火）、航空機の修理を終えた32次隊と交代した2機目のP-3Cが無事、当基地に帰ってきました。帰国した派遣隊員は、既に帰国している同じ31次隊の隊員をはじめ同僚隊員の出迎えの拍手に、安堵した表情を見せ笑顔で応えていました。

派遣期間中、温かい声援を送って下さった国民の皆様、そして派遣中の隊員を支えて下さったご家族の皆様にご心から感謝いたします。

～8月8日～



約4か月ぶりに八戸航空基地に帰ってきました！



総員で派遣隊員を拍手で出迎えました！



久しぶりのお父さんとの再会です！



第2航空群司令に帰国報告をする
31次隊指揮官高橋2佐(中央)

～8月14日～



この日をもって31次隊総員が無事帰国し、基地隊員が笑顔で出迎えました！